法曹三者になるには？

法曹三者（裁判官、検察官、弁護士）になるためには、司法試験に合格する必要があります。
しかし、司法試験は誰でも受験できるわけではなく、一定の受験資格が求められます。
ここでは受験資格を得る2つの方法、「法科大学院進学ルート」「司法試験予備試験受験ルート」について紹介します。

法科大学院進学ルート

POINT

1. 法学の修得状況で2コースに分かれる
2. 必要な単位を修得すれば確実に司法試験の受験資格が得られる
3. 双方向型の授業を通じて知識を深められる
4. 切磋琢磨できる仲間が見つけやすい
5. いわゆる法曹コースを選択すれば最短5年で受験資格を取得できる

法学既修者コース 進学希望者

法学部等

連携法曹基礎課程（法曹コース）以外
4年間
（早期卒業で3年間も可）

連携法曹基礎課程（法曹コース）
原則3年間
※本学では法曹コースにおける一貫教育プログラムを指します。

法曹一貫教育

→ **法科大学院入試（法学既修者コース）**

一般選抜等
法律科目中心
試験形式は短答式・論文式・面接等。
各法科大学院独自の形式で実施されます。
■ 国公立大学院 11～12月頃
■ 私立大学院 8～9月頃
※時期はおおよその目安。

提携先の法科大学院 →

特別選抜
5年一貫型
学部成績・面接等で選抜

提携先以外の法科大学院 →

開放型
学部成績＋論文式試験等で選抜

合格！ / 合格！ → **法科大学院 法学既修者コース**

2年間
法学既修者コースの標準修業年限は2年です。
※一定の要件を満たした場合、在学中に司法試験の受験も可能です。
※「5年一貫型」もしくは「開放型」で入学した場合、法科大学院での科目の履修免除を受けることができる場合があります。

法学未修者コース 進学希望者

こんな人におすすめ
- ☑ 法学部以外の学部を卒業予定
- ☑ 大学院で法学を基礎から学び直したい

→ **法科大学院入試（法学未修者コース）**

小論文・一般常識問題・面接等
各法科大学院独自の形式で実施されます。
■ 国公立大学院 11～12月頃
■ 私立大学院 8～9月頃
※時期はおおよその目安。

合格！ → **法科大学院 法学未修者コース**

3年間
法学未修者コースの標準修業年限は3年です。
※一定の要件を満たした場合、在学中に司法試験の受験も可能です。

司法試験予備試験受験ルート

POINT

1. 予備試験は誰でも受験でき、合格すれば司法試験の受験資格が得られる
2. 一般的に経済的負担が少ない
3. 予備試験の難度は非常に高い

司法試験予備試験 短答式試験

法律基本科目
（憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）
各科目10～15問程度

一般教養科目
（人文科学・社会科学・自然科学・英語）
全40問程度出題のうち、20問選択・解答

合格！ →

司法試験予備試験 論文式試験

法律基本科目
（憲法・行政法・民法・商法・民事訴訟法・刑法・刑事訴訟法）各科目1問、全7問出題

選択科目
（倒産法・租税法・経済法・知的財産法・労働法・環境法・国際関係法（公法系）及び国際関係法（私法系））1科目選択

法律実務基礎科目
（民事訴訟実務・刑事訴訟実務）
民事・刑事各1問、全2問出題

合格！ →

司法試験予備試験 口述試験

法律実務基礎科目
（民事訴訟実務・刑事訴訟実務）

合格！ →

司法試験

短答式試験
- 憲法
- 民法
- 刑法

論文式試験
■ 必須科目
- 憲法
- 行政法
- 民法
- 商法
- 民事訴訟法
- 刑法
- 刑事訴訟法

■ 選択科目（1科目選択）
- 倒産法
- 租税法
- 経済法
- 知的財産法
- 労働法
- 環境法
- 国際関係法（公法系）
- 国際関係法（私法系）

→ **司法試験合格** → **司法修習**（1年間） →

法曹三者

裁判官
検察官
弁護士

MORE

中央大学法職講座

詳しくはP.10へ

上記のルートで法律家を目指す学生のために、学部の正課授業とは別に開講している講座が中央大学法職講座です。

※法科大学院入試での提出書類は、それぞれの大学に確認してください。
※法曹一貫教育（連携法曹基礎課程（法曹コース））は、2019年度以降入学された方を対象とした制度です。
※各種制度は今後変更になることがあります。
※司法試験および司法試験予備試験の実施に関する詳細は、法務省から発信される各受験案内をご覧ください。